

付属資料・目次

特記仕様書（抜粋）	特 1
現場説明付記事項、案内図、構内配置図	1
仕上表（1）	2
仕上表（2）	3
地下1階平面図	4
1階平面図	5
2階平面図	6
屋階平面図	7
立面図	8
断面図	9
外構平面図	10

建築物等とりこわし工事特記仕様書			
工 事 概 要			
工 事 名 称 工 事 場 所 完 成 期 限 工 事 の 種 類 ・ 規 模 等	京都大学（南部）医学部E棟上屋とりこわし工事		
	京都市左京区吉田橋町（医学部構内）		
	令和9年1月29日（金曜日）		
	棟 名 称	医学部E棟	
	工 種	とりこわし（地中躯体除く）	
	構 造 ・ 階 数	R 2－1	
	建 築 面 積	(516) m ²	
	延 べ 面 積	(1,118) m ²	
（ ）内の数値は、当該建物のとりこわし面積とする。 工作物等 外構撤去工事 一式 電気設備撤去工事 一式 機械設備撤去工事 一式			
一般特記事項			
総 則	1. この工事の受注者は、国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成16年4月1日財務担当理事裁定制定）別記第1の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書 枚、図面 枚、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）、文部科学省土木工事標準仕様書（令和4年版）、建築物解体工事共通仕様書（令和4年版） 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）、公共建築設備工事標準図（統一基準）（電気設備工事編）（令和7年版）、公共建築設備工事標準図（統一基準）（機械設備工事編）（令和7年版） 及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。 2. 特記仕様書の適用方法 (1)・印で始まる事項及び表中の・印の事項は、○印の付した事項のみ適用する。 (2)＝ で抹消した章及び項目の当該特記事項は、すべて適用しない。 (3) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱いは、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 (4)左欄の〈 〉、（ ）内の数値は、下記の各該当番号を示す。 〈 〉 － 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版） （ ） － 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版） 3. J I S改正等のある場合はそれら最新の基準によるものとする。		
(1.3.5) 施 工 条 件	この工事現場では、次の施工条件による。 ●本工事建物周囲には教育研究施設が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すること。 ●構内の行事等により作業が制限されることがあるので、監督職員と協議の上、工程を決定すること。 ●撤去工事等の騒音・振動の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。 ●その他、敷地周囲に影響があると思われる作業については、監督職員と協議を行い進めること。 ●工事車両の通行は、交通整理員を配置して安全対策を講じること。 ●外部足場は防音シート等で覆い、工事関係者以外が足場に登ることのないようにすること。		

工事名 京都大学（南部）医学部E棟上屋とりこわし工事			図面番号
図面名称	縮尺	設計日	
特記仕様書（抜粋）	A1：－ A3：－	令和8年8月	特 1

現場説明付記事項

1 工事施工上の注意事項

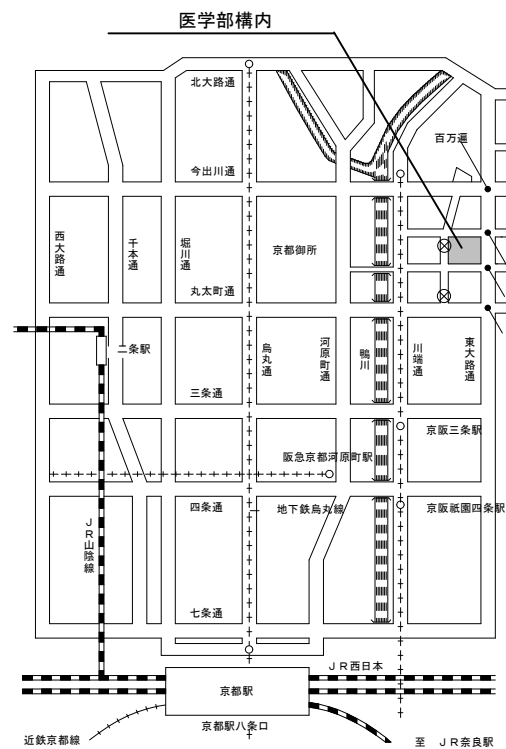
- 1) 車両通行経路は、図示の通りと、監督職員と協議のと、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。
工事車両は周辺道路路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
- 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入りができないようにすること。また、工事関係車両（通動車両を含む）は工事用地内に駐車することを原則とし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
- 3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
以下の日程は試験及び行事予定日のため、作業中止日として、工事の計画を立てること。
 - ・令和8年1月20日、1月21日、1月22日、1月23日、1月24日（11月祭）
 - ・令和8年12月12日（特色入試）
 - ・令和9年1月16日、1月17日（大学共通テスト）
 - ・令和9年1月23日、1月24日（通試験）
 - ・令和9年2月25日、2月26日、2月27日（一般入試）その他、学内の試験等による作業の中止については、監督職員と協議すること。
- 4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を行うこと。また、施工中の音対策を十分に検討し行うこと。
- 5) 教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
- 6) 本工事建物は令和8年10月末まで使用予定のため、本工事開始日は令和8年11月2日以降で計画し、監督職員と協議の上決定すること。
- 7) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火災等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
- 8) 支障となる地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
- 9) 工事用地は、除雪等常に良好な環境を保持すると共に工事完成時には原状に復帰して返還すること。
同一構内他の工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- 10) 作業時間、午前8時から午後6時を原則とする。
- 11) 構内における喫煙については、監督職員と協議のうえ、健康増進法（平成十四年法律第百三号）第二十五条に基づき受動喫煙対策を講ずること。

2 工事中の構内安全対策について

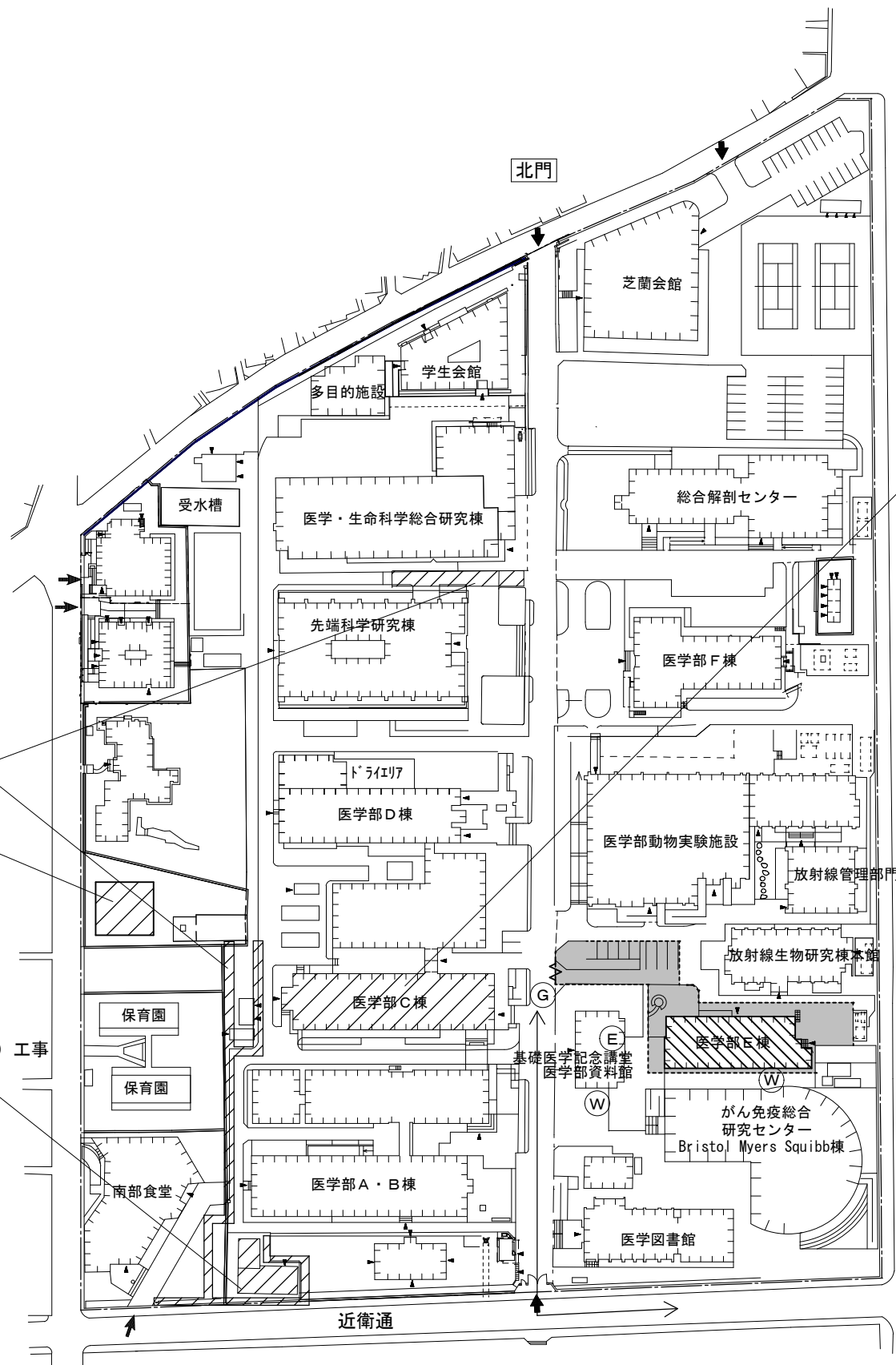
工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。

- 1) 監督職員と協議の上、構内要所工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
- 2) 掘削等での危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
- 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
- 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
- 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
- 6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナ部に透明バネルを設置する等安全確保に努めること。

また、期間中に同一構内で施工している別用途施工工事との連携を図り、円滑に工事を進めると。本工事業期中構内工事連絡会（仮称）に参加し、交通安全対策の強化を図ること。



案内図



構内配置図 (S=1/850)

凡 例

記 号	内 容
	本工事建物（とりこわし建物）
	別途工事
	本工事用地 1,000㎡
	工事用車両進入経路
	仮囲い（H=1.8m）
	パネルゲート 1ヶ所
	建物出入口
	交通誘導員（大型車両搬出入時）
	水道分岐位置
	電力分岐位置

工事名	京都大学（南部）医学部E棟上屋とりこわし工事		図面番号
図面名称	現場説明付記事項、案内図、構内配置図	縮尺 図示	設計日 令和8年8月

■ 仕 上 表 (1) 特記なき限り全て撤去

：アスベスト含有材料を示す

■ 共通事項

下記事項は共通とし、図中に表示がなくとも適用する。
ただしこれと異なる表示のある場合を除く。

1. 便所、汚濁室等水を使用する場所の石こうボードは、耐水石こうボードとする。

2. 天井下地は、軽量鉄骨製とする。

3. 床下地欄に特記なき場合はコンクリート直均し仕上とする。

4. 屋外の鉄部は特記なき場合は溶融亜鉛めっき下地とする。

5. コンクリート外壁の室内側には特記なき限り、現場発泡硬質ウレタンフォーム（t20）吹付

6. 煙突内断熱材はアスベスト含有品として撤去行う。

その他、アスベスト含有が疑わしい材料があった場合は、調査を行い適正に処分すること。

■ 外部仕上

区分

部 位

仕 様

屋根

屋上，塔屋屋上

塩化ビニル樹脂系
断熱露出シート防水（t2）断熱材（t25）（絶縁工法）
スラブ室内側 発泡ウレタンフォーム（t20）

防水立上り

一般

塩化ビニル樹脂系シート防水（t2.0）

バラベツト
笠木

一般

アルミ笠木 W500 B-UE

外壁

（北，西，南面）

（東面，北，南面の一部）

外装薄塗材E仕上

ボーダー：石目調吹付材
せつ器質タイル（レンガタイル）張り

屋外階段

壁・段裏：外装薄塗材E仕上

手摺：SUS 42.7φHL
支柱：SUS 27.2φHL @900

塔屋

外装薄塗材E

腰壁

一般

石目調吹付材

庇

北側出入口

スチールPL・1.6 B-UE

東側出入口

斜材：SUS16φ B-UE

補強材：PL・3.2×50×50

A-Bolt 4-M16 SUS

水切：スチール t1.6 曲げ加工 B-UE

庇種：スチール 200×50× t1.6

北側出入口

床
手摺

150角磁器質タイル

ステンレスパイプ（φ42.7）HL，支柱：ステンレスパイプ（φ34）HL，
中横：ステンレスパイプ（φ21.7）HL

建具

建具種類

アルミサッシュ：2次電解着色 カバー工法（RC用 見込70）
スチールサッシュ UE

ガラス

ガラス種類

透明フロートガラス（t5.0）
網入磨きガラス（t6.8）
網入型板ガラス（t6.8）

縦樋

一般

VP（φ100）VE

庇

ステンレス（φ75）HL

クラブ

塔屋

ステンレス HL

屋上機械置場

床

エキスパンドメタル敷き・根太 L-65×65×6@600
（下地鉄部は溶融亜鉛めっき）

【存置】
ドライエリア

【存置】壁

【存置】床

吹付タイル仕上

コンクリートt100直均し仕上

As

アスファルト舗装

Co

コンクリート舗装

ILB

インターロッキングブロック舗装

Gr

緑地

■ 材料表(外部仕上)

名 称(符号)

材質・規格・寸法など

備 考

せつ器質タイル

標準平（210x60x120）及び標準曲り，標準マグサ

レンガタイル

小口平（100x60x120）及び小口曲り，小口マグサ

レンガタイル

外装薄塗材E

砂壁状 吹付

石目調吹付材

複層塗材E 相当品

シーリング

SUS H1200 42.7φ t2.0

手摺

SUS H1200 42.7φ t2.0

支柱：27.2φ t2.0@900

SUS 34φ t2.0 22φ t2.0@400
足金物：FB 50×6（ボールインアンカー止め）@1200

クラブ

■ 材料表(内部仕上)

名 称(符号)

材質・規格・寸法など

備 考

GB-R

不燃石こうボード（t12.5，t9.5）

GB-F

無機繊維強化石こうボード（t15）

GB-F（S）

無機繊維強化シーシング石こうボード（t15）

GB-S

不燃シーシング石こうボード（t12.5，t9.5）

GB-D

不燃化粧石こうボード（t9.5）

SiB

繊維混入けい酸カルシウム板（t6，t8）

トイレブース

メラミン化粧合板パネル（H2000）

ライニング

メラミンプストフォーム（t19 W130）

手洗いカウンター

メラミンプストフォーム（t20）

汚垂石

花崗岩（t20）D600

天井点検口

450角（懸縁タイプ）79ヶ所

床下点検口

600角（防水・防臭タイプ）4ヶ所

室名札

H

200×200

カッティングシート貼り

堅木 t25×70 L500 SQP
モップ掛けフック SUS 3ヶ所

メラミン化粧合板仕上 中仕切 中段1枚
寸法平面詳細図記載

■ 凡例

記号

名 称

SOP

合成樹脂嵌合ペイント

VE

塩化ビニル樹脂エナメル

AE

アクリル樹脂エナメル

B-AE

アクリル樹脂エナメル焼付

FE

フタル酸樹脂エナメル

FUE

ふっ素樹脂エナメル

B-FUE

ふっ素樹脂エナメル焼付

CE

塩化ゴム系塗料

LE

ラッカーエナメル

G-EP

つや有り合成樹脂エマルションペイント

EP

合成樹脂エマルションペイント（外部用）

CL

クリヤラッカー

OS

オイルステイン

MR

マスチック塗材

UE

ポリウレタン樹脂エナメル

B-UE

ポリウレタン樹脂エナメル焼付

ASE

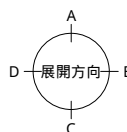
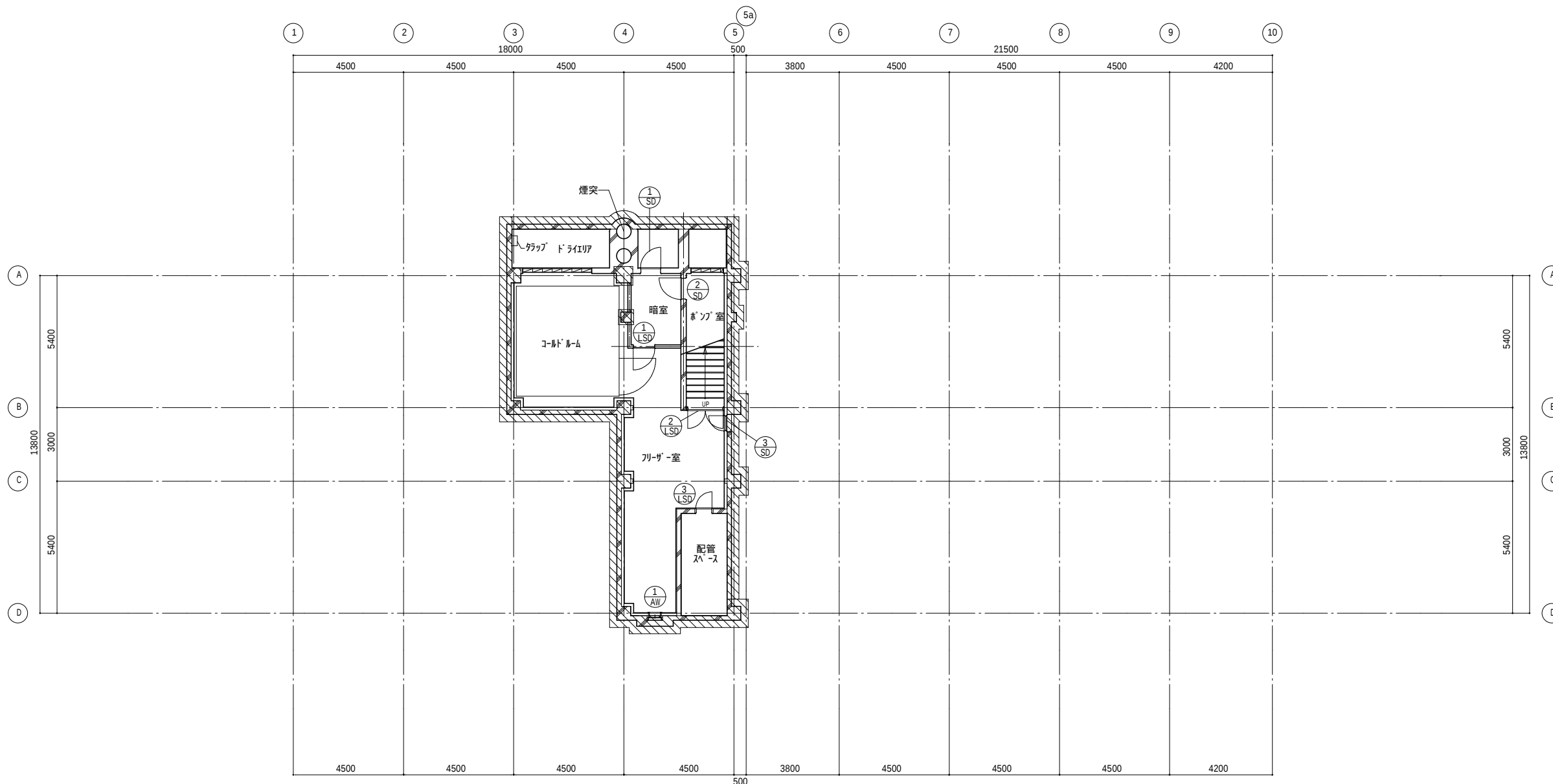
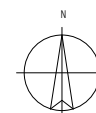
アクリルシリコン樹脂エナメル

<

工事名 京都大学（南部）医学部E棟上屋とりこわし工事			図面番号 2
図面名称 仕上表（１）	縮尺 A1： - A3： -	設計日 令和8年8月	

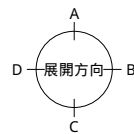
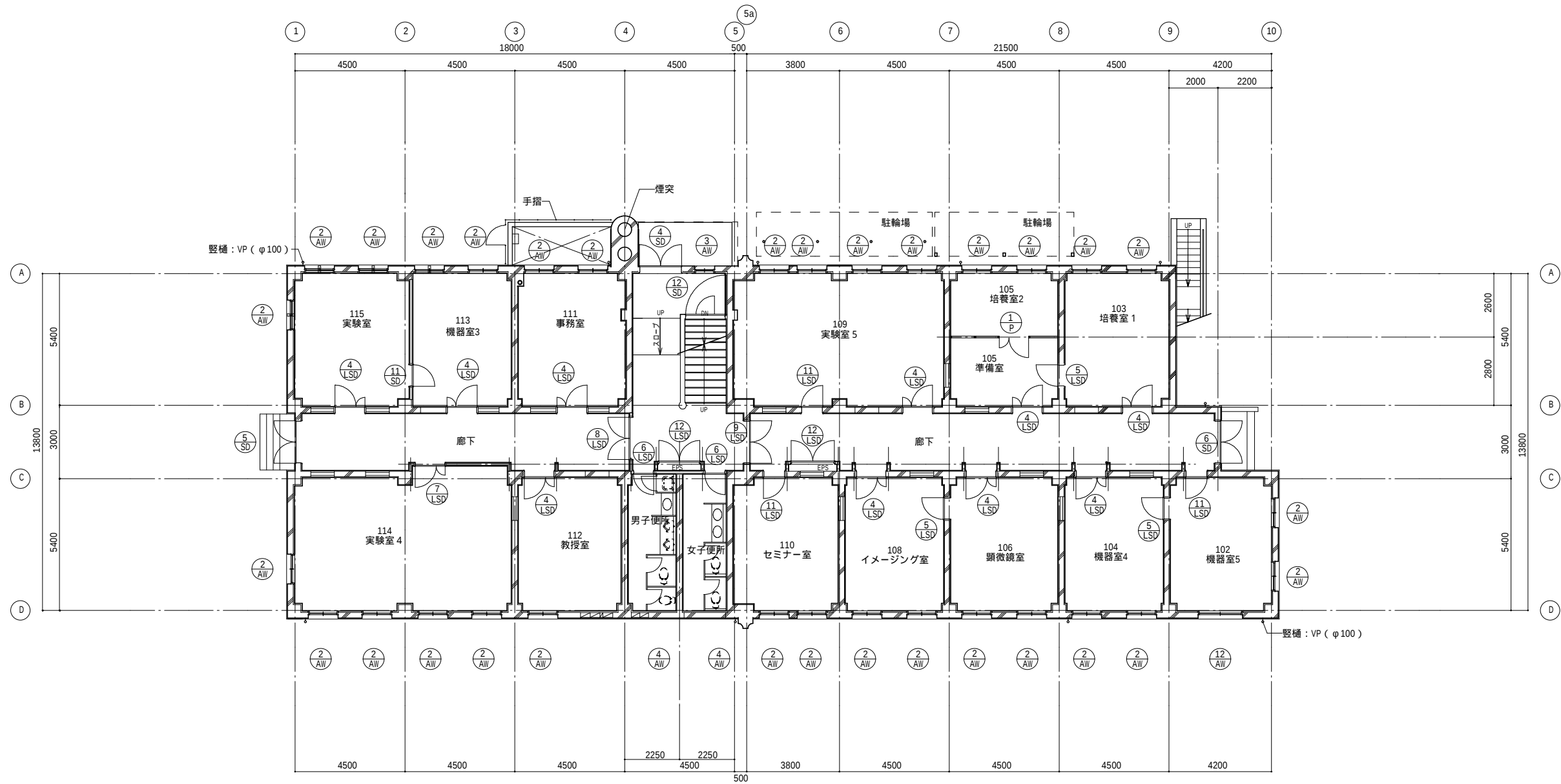
■ 仕 上 表 (2) 特記なき限り全て撤去															□ : アスベスト含有材料を示す																			
階	室 名	内装制限	床レベル		床	仕上	幅木	H	壁		回り縁	天 井		天井高	備 考	階	室 名	内装制限	床レベル		床	仕上	幅木	H	壁		回り縁	天 井		天井高	備 考			
			躯体	仕上					下地	仕上		下地	仕上						躯体	仕上					下地	仕上		下地	仕上			下地	仕上	
地下1	コールドルーム		-70	+30	湧水処理バネルH=30	コンクリート直継挿入			(C) (D) 【押出し成形材】板 t15 (A) コンクリート壁【存置】及びCB積 (B) LGS+耐水GB (t 9.5+12.5) (B)の柱型) プラスター	素地 素地 素地	-	ブラスター	素地	直天	室名札 プレハブ: 4200×4500×H2200	2	廊下		-70	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) LGS GB-F (t 15+15) (廊下と各室間)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600				
	暗室		-70	+30	湧水処理バネルH=30 コンクリート直均し	水性アクリル系防塵塗料	床材立上げ	60	(C) (D) LGS+耐水GB (t 9.5+12.5) (D)の柱型) GB (t 9.5+12.5) (GL工法) (A) (B) GB (t 9.5+12.5) (GL工法)	EP	-	ブラスター	EP	直天	室名札		202 スタッフルーム		-70	±0	コンクリート直均し	タイル+ベタ (t 6.5) ビニル床シート (t 2.5) 下地 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (C) LGS GB-R (t 9.5+12.5) (窓部分片側面) (D) LGS GB-F (t 15+15)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 スチール流し、机、棚			
	フリーザー室		-70	+30	湧水処理バネルH=30 コンクリート直均し	水性アクリル系防塵塗料	床材立上げ	60	(A) LGS+耐水GB (t 9.5+12.5) (C・D)の柱型) (C)【押出し成形材】板 t15 (B) (C) 耐水GB (t 9.5+12.5) (GL工法) (B) アクリルバネル	EP	-	ブラスター	EP	直天	室名札		203 培養室 1		-70	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (C) LGS GB-F (t 15+15)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 スチール流し			
	ポンプ室		-70	+30	湧水処理バネルH=30 コンクリート直均し	水性アクリル系防塵塗料	床材立上げ	60	(A) (C) (D) コンクリート壁 (B) 【押出し成形セメント板 t15】 (A) CB積	EP	-	ブラスター	素地	直天	室名札		204 事務室		-70	±0	コンクリート直均し	タイル+ベタ (t 6.5) ビニル床シート (t 2.5) 下地 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (A) (B) LGS GB-F (t 15+15)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 スチール流し、机、棚			
	配管スペース		-70	+30	湧水処理バネルH=30 コンクリート直均し	水性アクリル系防塵塗料	床材立上げ	60	コンクリート (B) (C) アクリルバネル	素地		コンクリート	素地	直天	室名札		205 P2実験室		-70	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札			
	【存置する躯体 (地下1階)】柱・梁・土に面する外壁																																	
1	廊 下		-70	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法 一部XR-G 部分リッ付シート	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) LGS GB-R (t 9.5+12.5) (袖壁) LGS GB-F (t 15+15) (廊下と各室間、4 通り壁)	EP	塩ビ	ブラスター	EP	直天	床下点検口600角 4ヶ所	208-3 大実験室1		-70	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札				
	102 機器室 5		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札			-70	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	75	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (A, 廊下側) LGS GB-F (t 15+15) (天井壁) LGS GB-R (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 スチール流し、机、棚				
	103 培養室 1		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札			-70	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	75	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (A) LGS GB-R (t 12.5+9.5) (B) (C) LGS GB-F (t 15+15)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札				
	104 機器室 4		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (A) LGS GB-F (t 15+15) (D) LGS GB-R (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 スチール流し																			
	105 準備室		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (C) LGS GB-F (t 15+15) (D) LGS GB-R (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 スチール流し、机、棚																			
	105 培養室 2		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札																			
	106 顕微鏡室		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (A) LGS GB-F (t 15+15) (B) LGS GB-R (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札																			
	108 イメージング室		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (A) LGS GB-F (t 15+15) (D) LGS GB-R (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 スチール流し																			
	109 実験室 5		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (C) LGS GB-F (t 15+15)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 スチール流し、机、棚																			
	110 セミナー室		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (A) LGS GB-F (t 15+15) (B) LGS GB-R (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札																			
	111 事務室		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	GB-R (t 9.5+12.5) コンクリート壁 (GL工法) (C) LGS GB-F (t 15+15)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 ミキサー																			
	112 教授室		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	GB-R (t 9.5+12.5) コンクリート壁 (GL工法) (D) LGS GB (t 9.5+12.5)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 ミキサー																			
	113 機器室 3		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	床材立上げ	100	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (ショウト工法) LGS GB-F (t 15+15) (廊下側、ショウト工法)	VE	塩ビ	LGS GB-R (t 9.5+12.5) (ショウト工法)	VE	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 スチール流し																			
	114 実験室 4		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (A) LGS GB-F (t 15+15)	EP	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	ブラインドボックス、ブラインド 室名札 スチール流し、机、棚																			
	115 実験室		-70 -30	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	床材立上げ	100	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) LGS GB-R (t 9.5+12.5) (ショウト工法) (窓部分は片側面) LGS GB-F (t 15+15) (廊下側、ショウト工法)	VE	塩ビ	LGS GB-R (t 9.5+12.5) (ショウト工法)	VE	2600	室名札																			
	男子便所		-70	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (A) LGS GB-F (t 15+15) GB充填	VE	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	トイレ・ス 手洗い・カウンタ・鏡 シンク・汚重石 SK用棚・タオル掛・室名札																			
	女子便所		-70	±0	コンクリート直均し	ビニル床シート (t 2.5) 溶接工法	ビニル幅木	60	コンクリート壁 (GL工法) GB-R (t 9.5+12.5) (A) LGS GB-F (t 15+15) GB充填	VE	塩ビ	LGS	GB-D (19.5)	2600	トイレ・ス 手洗い・カウンタ・鏡 シンク																			
															</																			

工事名 京都大学 (南部) 医学部 E 棟上屋とりこわし工事			図面番号	
図面名称 仕上表 (2)	縮尺 A1: - A3: -	設計日 令和8年8月	3	



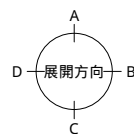
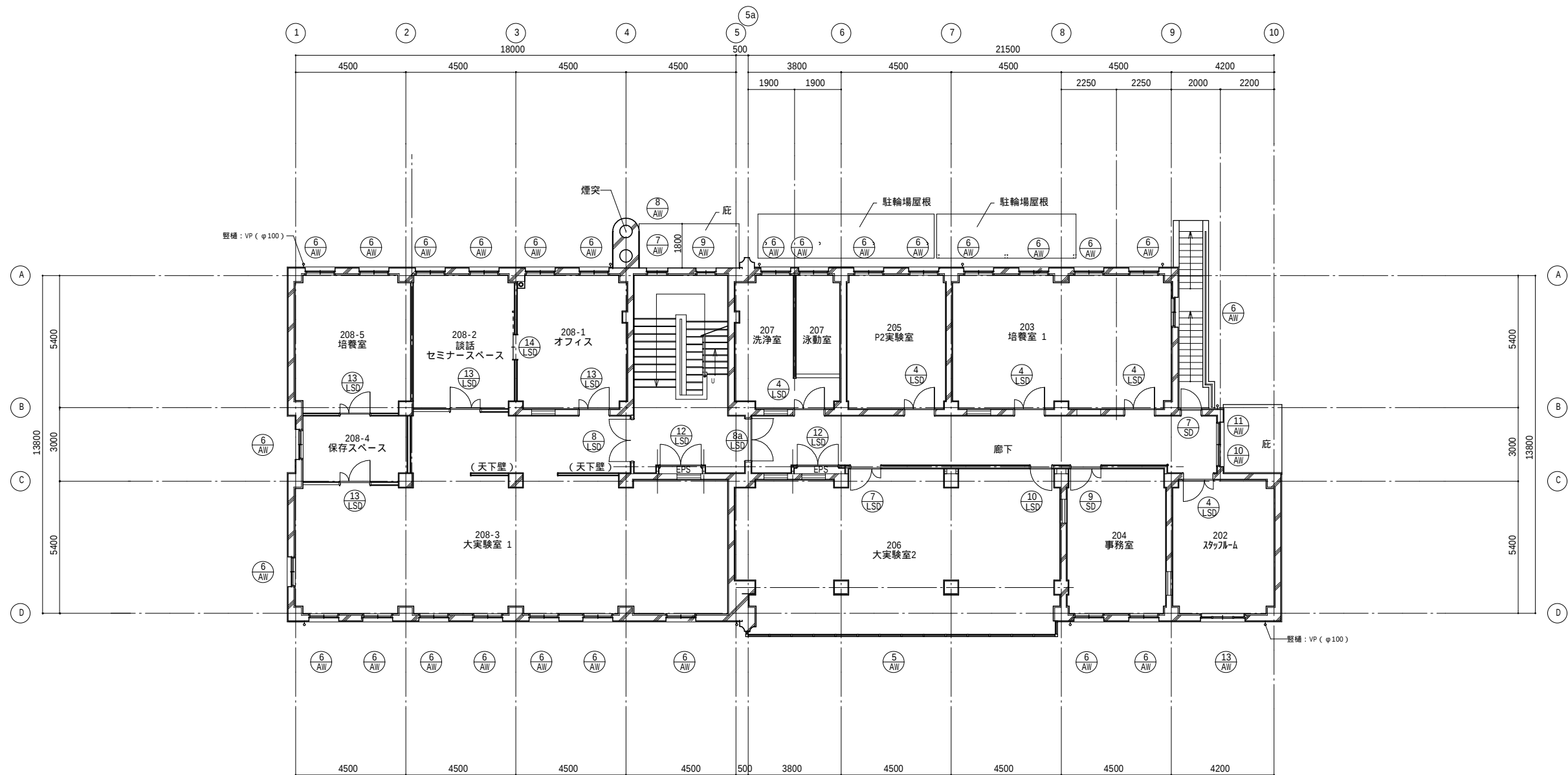
 本工事範囲外 (躯体のみ)

工事名 京都大学 (南部) 医学部 E 棟上屋とりこわし工事			図面番号 4
図面名称 地下1階平面図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	設計日 令和8年8月	



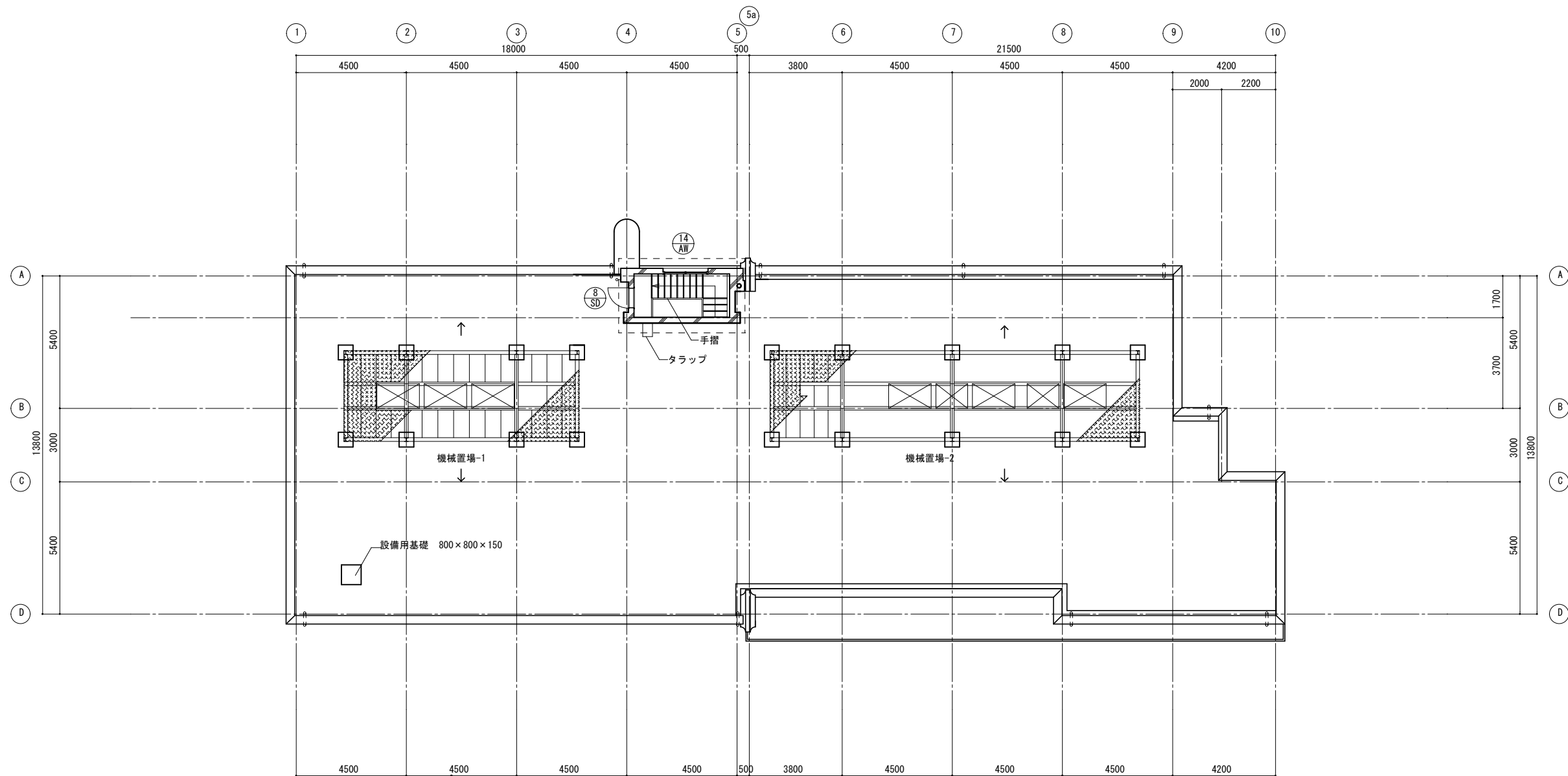
1 階 平 面 図

工事名 京都大学（南部）医学部 E 棟上屋とりこわし工事			図面番号 5
図面名称 1 階平面図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	設計日 令和8年8月	



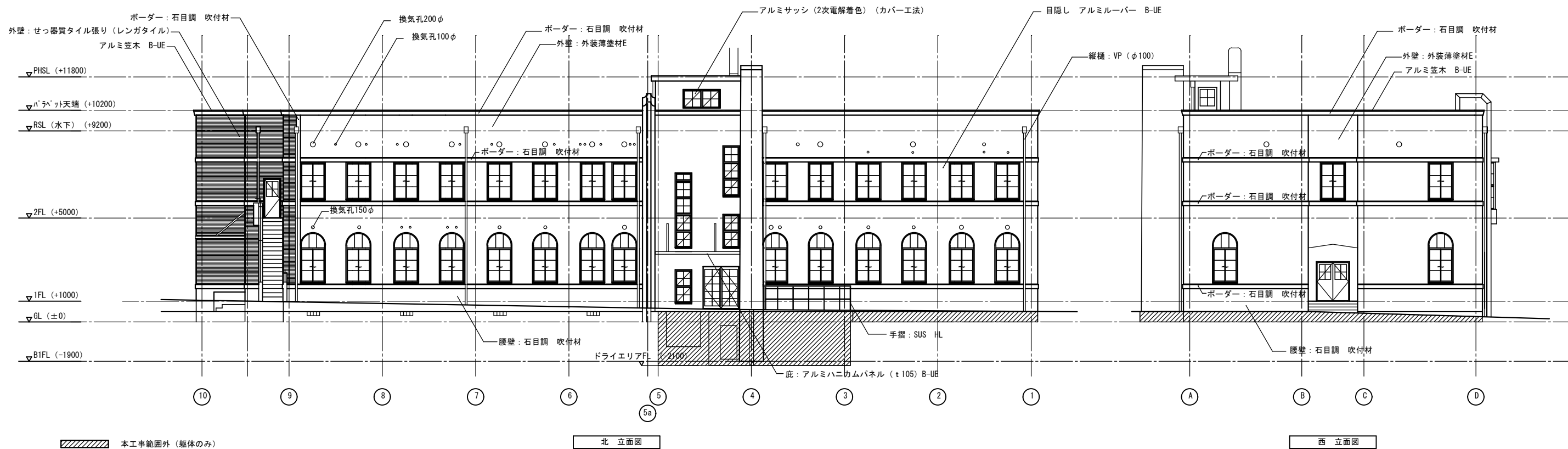
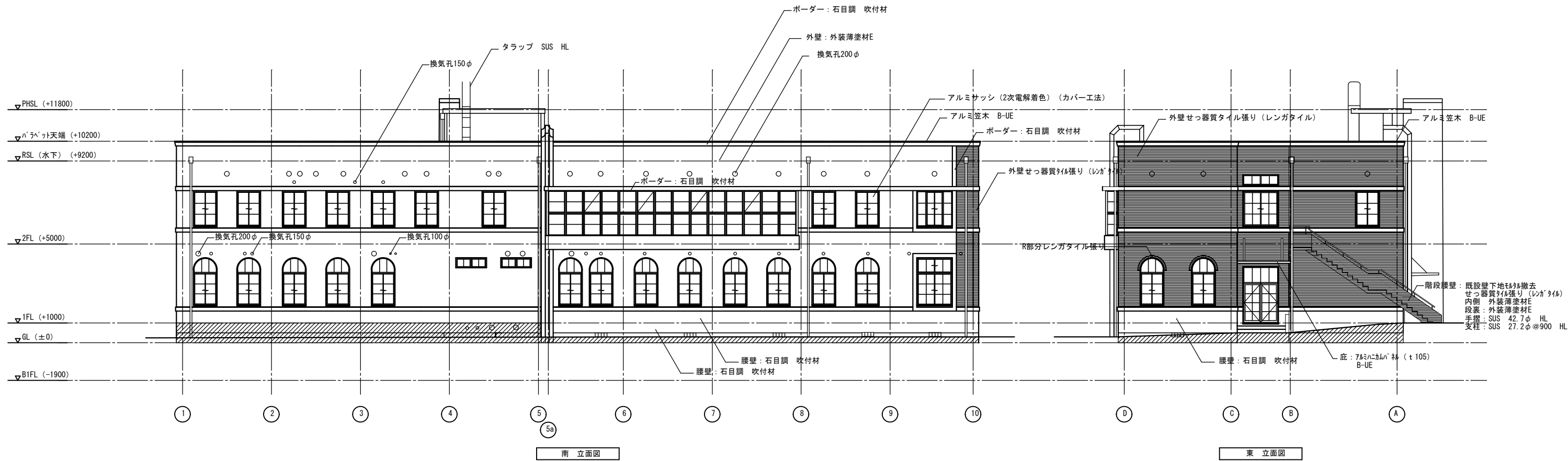
2 階 平 面 図

工事名 京都大学（南部）医学部 E 棟上屋とりこわし工事			図面番号 6
図面名称 2 階平面図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	設計日 令和8年8月	



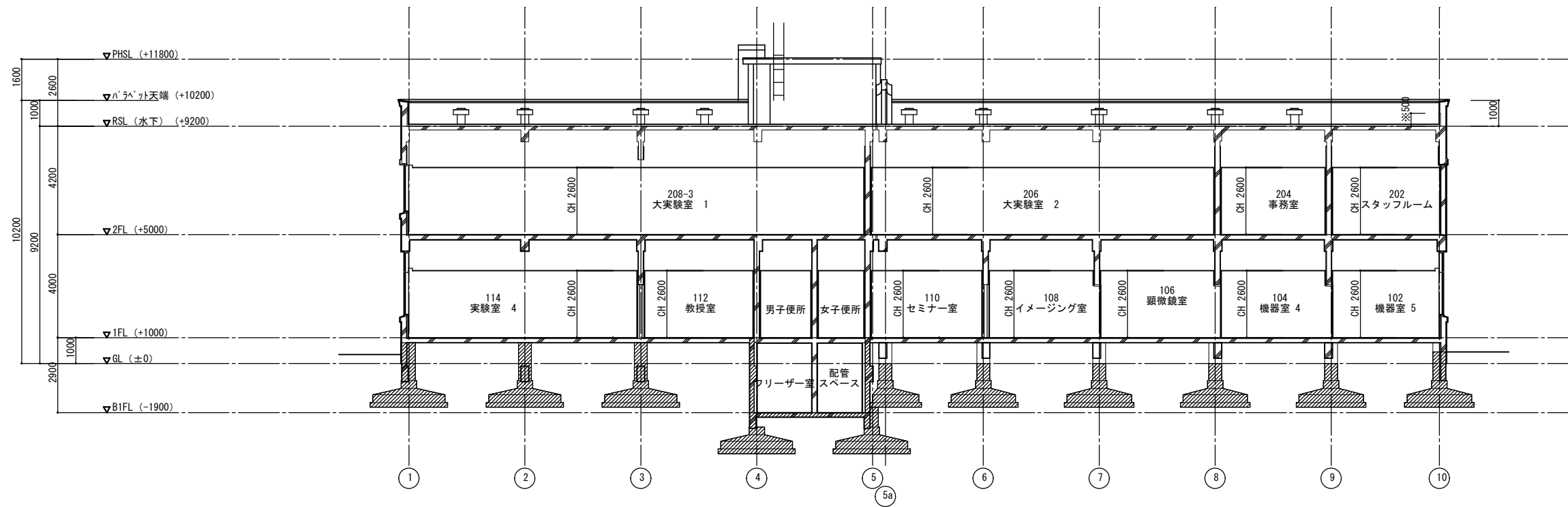
屋 階 平 面 図

工事名			京都大学（南部）医学部E棟上屋とりこわし工事		図面番号
図面名称		縮尺	設計日		
屋階平面図		A1： 1/100 A3： 1/200	令和8年8月		

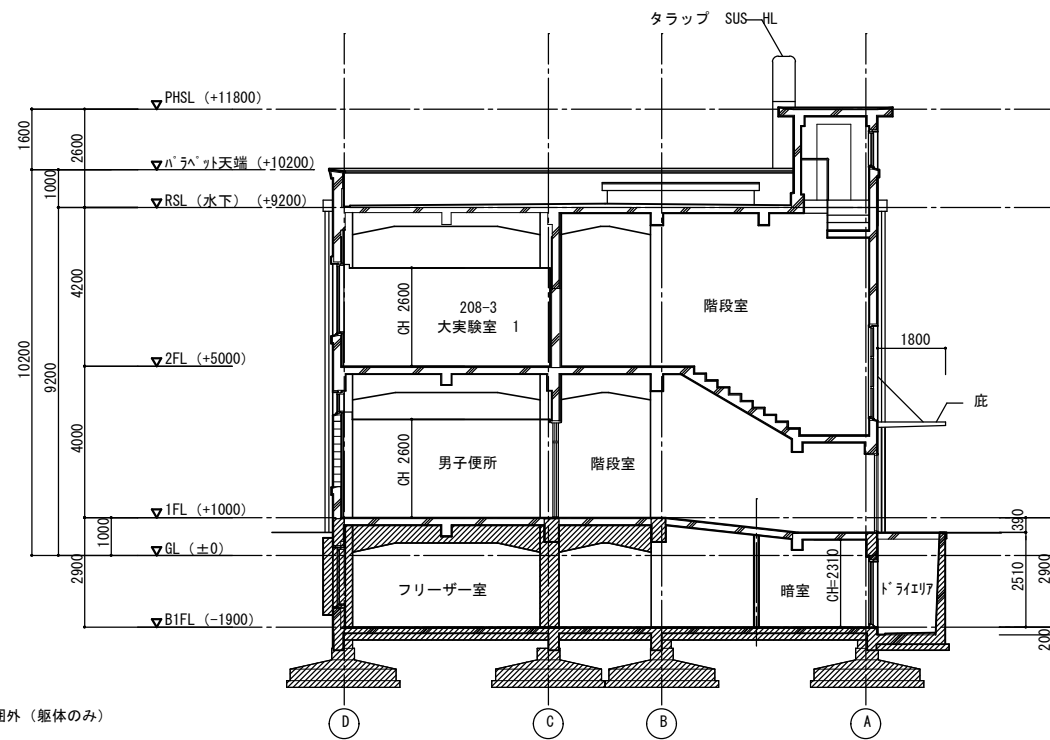


本工事範囲外 (躯体のみ)

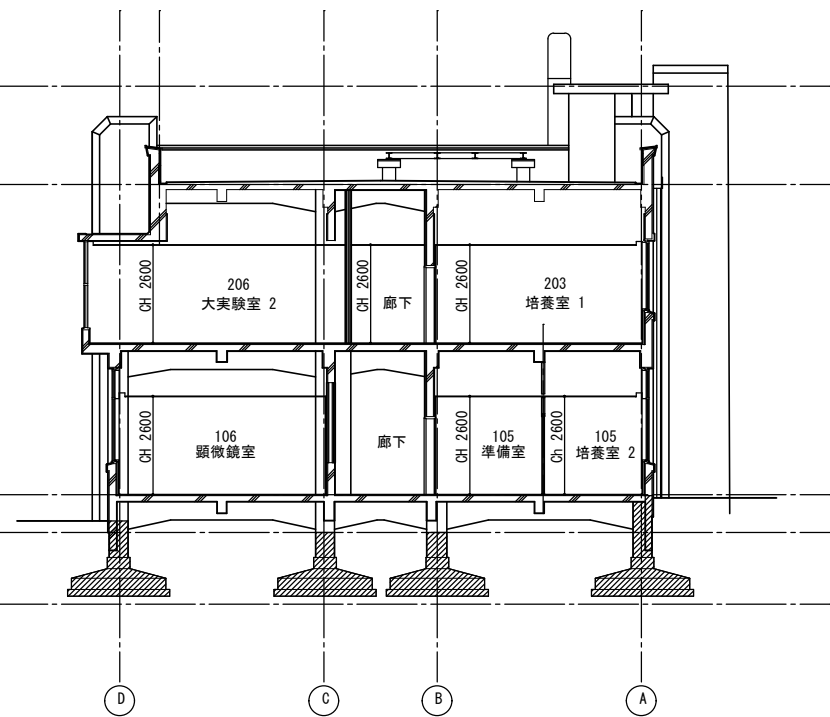
工事名 京都大学 (南部) 医学部E棟上屋とりこわし工事			図面番号 8
図面名称 立面図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	設計日 令和8年8月	



C通 - D通間 断面図



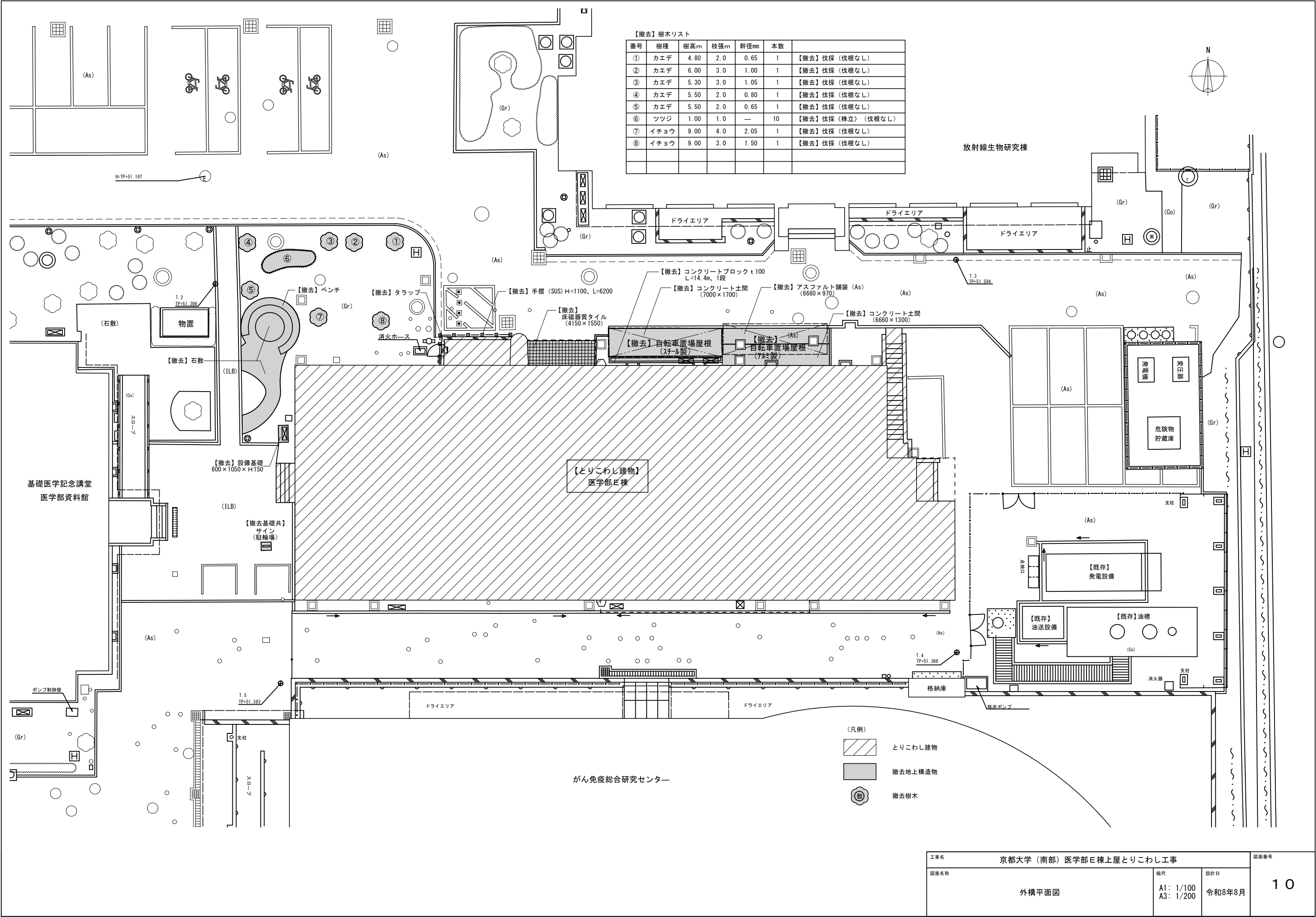
4通 - 5通間 断面図



7通 - 8通間 断面図

本工事範囲外（躯体のみ）

工事名 京都大学（南部）医学部E棟上屋とりこわし工事			図面番号 9
図面名称 断面図	縮尺	設計日	
	A1: 1/100 A3: 1/200	令和8年8月	



【撤去】樹木リスト						
番号	樹種	樹高m	枝張m	幹径mm	本数	
①	カエデ	4.80	2.0	0.65	1	【撤去】伐採（伐根なし）
②	カエデ	6.00	3.0	1.00	1	【撤去】伐採（伐根なし）
③	カエデ	5.30	3.0	1.05	1	【撤去】伐採（伐根なし）
④	カエデ	5.50	2.0	0.80	1	【撤去】伐採（伐根なし）
⑤	カエデ	5.50	2.0	0.65	1	【撤去】伐採（伐根なし）
⑥	ツツジ	1.00	1.0	—	10	【撤去】伐採（株立）（伐根なし）
⑦	イチョウ	9.00	4.0	2.05	1	【撤去】伐採（伐根なし）
⑧	イチョウ	9.00	3.0	1.50	1	【撤去】伐採（伐根なし）